文部科学省 御中

教職大学院構想に関する資料等提出依頼

平成17年7月27日
規制改革・民間開放推進会議 教育ワーキンググループ
主査 草刈隆郎

去る6月29日(水)の教育ワーキンググループ(議題:「教員養成専門職大学院構想を中心とする、教員の多様化・質の向上」について)には、ご多忙の折、ご出席をいただき、ありがとうございました。

ヒアリング後の資料等提出依頼として添付のとおり送付させていただきますので、大変恐れ入りますが、8月3日(水)までに回答をいただきたく、お願い申し上げます。また、提出された回答は、ホームページ等において公開させていただきます。たく存じます。

以上

本件連絡先
内閣府規制改革・民間開放推進室
教育WG事務局
(電話:5501-2822)

教職大学院構想に関するヒアリングを踏まえた資料等提出依頼

- 1 . 教職大学院の修了者について、採用条件、給与以外にも、文科省の予算配分、規制、許認可などの面で、他の大学学部、大学院と比べて異なる扱いが予定されているのかどうかご教示願いたい。もし異なる扱いがなされるのであれば、その根拠についても併せて示されたい。
- 2 . 「専任教員のうちの相当の割合の者については、教職等としての実務経験を有する実務家教員とすることが重要（専門職大学院WG（第8回）審議経過（案）P12）」とあるが、実務家教員による教育が教員としての資質向上に寄与するという実証データがあるのか示されたい。
- 3 . 「必要専任教員数に占める実務家教員の比率をおおむね4割以上とする。（同P12）」とあるが、これについても4割と定める実証的な根拠を示されたい。
- 4 . 学部における教員養成教育に際し、平成10年の免許法の改正によって、「教科に関する科目」の単位数を減らし、「教職に関する科目」の単位数を増やす等の措置が講じられたところであるが、本改正に至った根拠と共に、本改正によって教員の資質が向上しているという実証データがあるのか示されたい。
- 5 . 現在の教員養成課程出身の教員に対して、教科に関する専門知識が欠如しているため、児童生徒へ知的好奇心を抱かせる教育は疎か、教科教育そのものが十分に出来ていないという指摘・批判があるが、これに対する貴省の考えを示されたい。
- 6 . また、教職大学院の制度設計において、5 . の指摘・批判に対しては貴省として如何に対応されるつもりであるのか併せて示されたい。

以 上